

# 縦覧用

2

## 見 解 書

日本セメント株式会社西多摩工場 採石事業の拡張

昭和57年12月

日本セメント株式会社

## 1. 総 括

### 1.1 事業者の氏名及び住所

名 称：日本セメント株式会社 代表者 代表取締役社長 北岡 徹

所在地：東京都千代田区大手町1の6の1 電話(03)201-1731(代)

### 1.2 対象事業の名称

日本セメント株式会社西多摩工場 採石事業の拡張  
(土石の採取)

### 1.3 対象事業の内容の概略

この事業は土石の採取であり、その計画の概要は表-1のとおりである。

表-1 採石事業計画の概要

事業の規模	総採取岩量	1,170万t
	年当り採取岩量	60万t
	採取期間	195年
	事業拡張区域	489,500㎡
	採掘区域	147,300㎡
	残留緑地	342,200㎡

### 1.4 意見及び事業者の見解の概略

評価書案について、都民からの意見書が3通と関係地域が位置している日の出町長からの意見が提出された。また、公聴会においては、公述人3名から意見が述べられた。

これらの主な意見と事業者の見解の要旨の概略は、表-2のとおりである。

表-2 主な意見の要旨と見解の要旨の概略

主 な 意 見 の 要 旨	見 解 の 要 旨
<p>植物のオクノカンスゲ、ヒナノウスツボ、ヤブニッケイが確認されたとしているが、採掘区域にあるとすれば貴重種として考えなくてはならない。</p>	<p>再度、現地調査を行なった結果、指摘された種については誤認であることが認められたので、次のとおり訂正する。                      オクノカンスゲ→ミヤマカンスゲ                      ヒナノウスツボ→セキヤノアキチョウジ                      ヤブニッケイ →シロダモ</p>
<p>緑化復元計画については、復元目標が低く、また、具体的な工法や施工方法が示されていない。</p>	<p>緑化復元目標は、既存の採掘場の緑化事例等を参考にして計画したものである。                      具体的には、残壁法面については客土吹付工及び種子吹付工を採用し、西洋シバとススキ、ハギ等の在来種による斜面緑化を実施する。犬走りでは、蛇籠あるいは溝掘り客土による生育基盤の造成を行い、在来種による緑化を実施する。採掘場の平坦部は、1m厚以上の客土を行い、在来の植生を目標に樹林地の造成を行う。</p>
<p>日の出町の長期総合計画と採石事業との整合性について、どのように考えているか。</p>	<p>拡張事業は「日の出町長期総合計画 基本構想」により指定された鉱・工業地域に立地しており、日の出町の課題と展望に添うべく基本構想に沿って、自然と生活環境の保全に留意しながら、事業を推進する。</p>
<p>製品の搬出が沿道に及ぼす影響についても予測・評価すべきである。</p>	<p>破碎・選別、製品出荷については、既存事業の継続であり、生産量及び製品出荷のダンプトラック台数が変わらないため、対象事業に該当しない。</p>

## 2 対象事業の目的及び内容

### 2.1 事業の目的

日本セメント㈱西多摩工場勝峰鉱山は、大正15年に開山以来セメント用原料、生コンクリート用砕石、道路用路盤材等を生産しているが、安全に採掘できる残存可採鉱量が少なく、今後安定した操業を続けることが困難となったため、採石区域の拡張を図ろうとするものである。また、これにより従業員の雇用の安定、地域経済の発展等地域社会に対する企業の社会的責任も果そうとするものである。

### 2.2 事業の内容

#### (1) 位置及び区域

対象事業は、東京都西多摩郡日の出町大字大久野字細尾及び字岩井に位置し、日本セメント㈱西多摩工場勝峰鉱山北西部に隣接する区域である(図-2)。

#### (2) 事業開始の時期

既採掘区域(勝峰鉱山)の残存可採鉱量を勘案して、昭和58年5月から事業に着手する計画である。

#### (3) 事業の内容及び規模

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| 1) 総採取岩量   | 1,170万トン             |
| 2) 年当り採取岩量 | 60万トン                |
| 3) 表土除去量   | 270万トン               |
| 4) 採取期間    | 19.5年                |
| 5) 生産品目    | 生コンクリート用砕石、道路用路盤材、砕砂 |
| 6) 生産工程    |                      |

採掘から製品の生産までの作業系統は、図-1のとおりである。

#### 7) 先行工事

- ① 専用運搬道路の建設 延長1,870m、幅員5m~8m
- ② 公害防止施設の設置

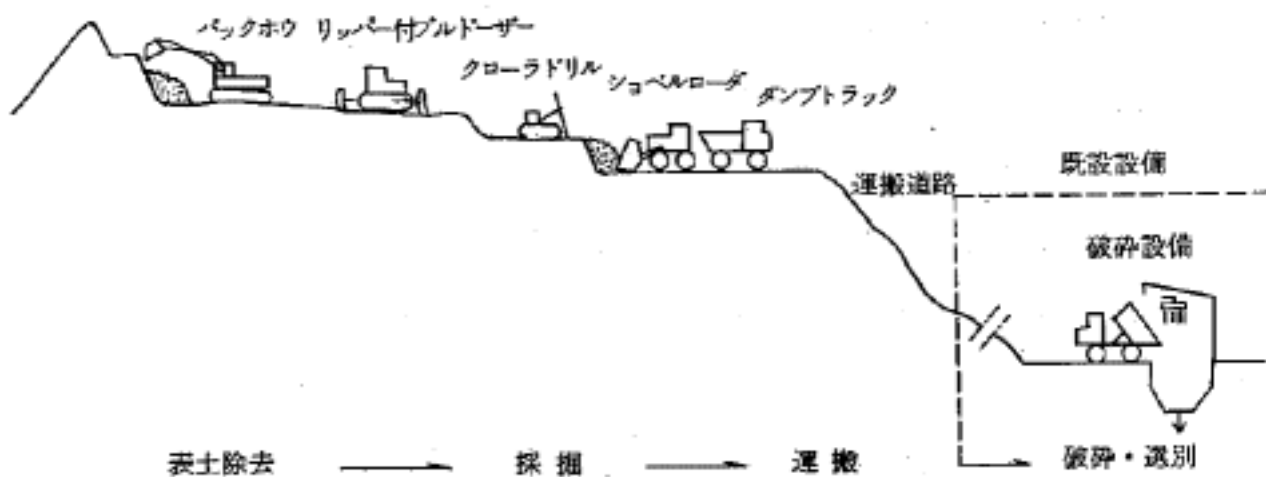


図-1 作業系統図

